高2
2024 シラバス

履修学年	科目	必修	授業形態	単位数
高校２年	英語コミュニケーションⅡα		分割	５単位

教科書 CROWN　English Communication Ⅱ　　（三省堂）	副読本　　Database4500（桐原書店） Database Workbook(桐原書店) Next Stage 英文法・語法問題（桐原書店） CORPUS CROWN 総合英語（三省堂） CORPUS CROWN ENGLISH GRAMMAR（三省堂） WORKBOOK FOR CORPUS CROWN ENGLISH GRAMMAR（三省堂）

目標・ねらい
１　教科書の単元で扱われる内容を通して、言語や文化に対する理解を深める。
２　単元内容を理解するとともに、自らの意見を適切に伝えるための文法事項等についての知識を習得する。
３　授業での課題等を通して自己表現の機会を設け、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。

注意事項（学習方法・長期休業の課題など）

１　学習方法
（１）予習
ア　各セクションの単語の意味を調べる。
イ　SVOの形を可視化する記号をつけながら、セクションを読み通す。
ウ　各レッスン・セクションの内容に対して、英語で自分の意見を書く。
エ　ブックレット（Lessonの内容理解のための小冊子）に取り組む。

（２）授業中
ア　帯活動（Small Talk／リスニング／速読等）
イ　オーラル・イントロダクション
ウ　リスニングによる概要把握
エ　新出語彙の確認
オ　本文の内容理解と音読
カ　新出文法のルールの理解とそれを使った自己表現
キ　自己表現（Presentation／Essay）
ク　Vocabulary Quiz（レッスン毎），DataBase Quiz（週１回），Next Stage Quiz（週１回）

（３）復習・宿題
ア　ブックレットを読み返す。
イ　本文の音読
ウ　読解（長文問題集，その他の長文）
エ　DataBase Workbook，Next Stage
オ　WORKBOOK FOR CORPUS CROWN ENGLISH GRAMMAR

２　長期休業の課題
（１）　DataBase 100 Quiz
（２）　Next Stage 100 Quiz，Next Stage Idiom Quiz
（３）　その他、必要に応じて指定される課題

評価について

項目	割合	授業時における項目
知識・技能	50	定期試験、Data Base Quiz、 Vocabulary Quiz、NextStage Quiz
思考・判断・表現	30	定期試験、Presentation、、Booklet、Essay、 Hyper Listening Intermediate
主体的に学習に取り組む態度	20	Hyper Listening Intermediate、 Active Practical Reading、プリント、ノート、 Essay、CORPUS CROWN English Grammar27ワークブック・テキスト

年間授業計画表

	単元	目標
前期	Lesson 1　Lost in Translation 受け身（不定詞・動名詞）	○翻訳が難しい表現についての文章を読み、翻訳した表現のみでは正しい理解に至らない場合があることを知る。 ・物ごとを正しく理解するために、表面的ではなく ・動物を使った例えを外国語で理解する難しさを体験する。
	Lesson 2　One Book Can Empower a Child 動名詞の意味上の主語　不定詞の完了形 リスニング演習 速読演習 CORPUS CROWN 総合英語 中間テスト	○「書物の持つ力と可能性」について識字率も踏まえて考える。 ・子供にとっての読書の意味を考える。
	Lesson 3 Accessible Japan 分詞　分詞構文　強調構文 Lesson 4 Crossing the Border 不定詞+前置詞／完了進行形／強調構文 リスニング演習 速読演習 文法問題集演習 CORPUS CROWN 総合英語 GTEC／期末テスト	○障がい者のために活動するジョシュ・グリスデイルさんの文章を通してバリア・フリーのための改善点を考える。 ○「国境なき医師団」に参加した貫戸朋子医師の活動を通じて、国際協力について考える。 ・貫戸医師の伝えたい想いをしっかり読み取る。 ・国際協力をする上で重要なことに気づく。 ・「貫戸医師のとった判断」について、自分ならどうするか考える。
後期	Lesson 5 Mental Toughness 関係副詞の非制限用法　不定詞＋前置詞 Lesson 6 Walking in Gaudi's Footsteps 助動詞＋have＋過去分詞　S is whether節 リスニング演習 速読演習 文法問題集演習 CORPUS CROWN 総合英語	○スポーツ競技におけるメンタル・タフネスについて学び、日常の様々な状況において応用が効く場面を考える。 ・ストレスのある環境下でも最大限の成果を出し、集中力を維持するためのスキルを学ぶ。 ○サクラダファミリアの主任彫刻家外尾悦郎さんのインタビューを読み、仕事や自分のライフワークについて考える。
	Lesson 7 Why Biomimicry? if 節のない仮定法／仮定法未来/ 仮定法現在 Lesson 8 Invisible No Longer be to 不定詞 結果を表す不定詞 リスニング問題集の演習 長文問題集の演習 文法問題集の演習 CORPUS CROWN 総合英語 冬中間テスト／GTEC	○新素材・新技術を動植物から学ぶ「バイオミミクリー」を通して、自然との共生について考える。 ・自然「から」学ぶという態度の重要性を考える。 ・自然と人とのつながり、「共生」について考え共有する。 ○コートジボワールのカカオ農園における女性たちの活動を通して真に平等であるために私たちのできることを探る。 ・フェアトレードについて学び、対等であるために必要なことを探る。
	Lesson 9　Nudges 受け身の進行形　未来進行形　未来完了形 Lesson 10 Are We alone? 独立分詞構文　倒置 リスニング演習 速読演習 文法問題集演習 学年末テスト	○人々のより良い選択を手助けする「ナッジ」という仕組みについて学ぶ。 ・「行動経済学」という学問の発想に触れ、その場の雰囲気や見た目に左右されずに適切な判断ができるようなスキルを学ぶ。 ○リチャード・ドーキンス博士による地球外生命体の探索についての文章を読む。 ・宇宙探索の意義について、根拠を添えて説明できるように自分の考えをまとめる。

履修学年	科目	必修	授業形態	単位数
高校２年AE	英語コミュニケーションⅡβ		一斉	５単位

教科書	副読本
CROWN English Communication Ⅱ（三省堂）	Database4500 ／ Next Stage 英文法・語法問題 Active Practical Reading Hyper Listening Pre-advanced Next Stage Data Base CORPUS CROWN総合英語(三省堂)

目標・ねらい
１　英語の学習を通じて、様々な問題について興味・関心を深め、自らの考え、意見を持つ。
２　自己表現のためのツール（文法、語彙、論理展開）を身に付ける。
３　自己表現の経験を積むことによって、自己表現力を身に付ける。
４　自ら必要なものを選び学習し、自主性を身に付ける。

注意事項（学習方法・長期休業の課題など）

１　学習方法
（１）予習
ア　事前に指定されたHomework Assignment（Lesson 冊子内容やワークブック等）

（２）授業中
ア　帯活動（Speaking／Listening ／Reading）
イ　オーラル・イントロダクション／復習（新出語彙・本文音読・弾丸インプット）
ウ　リスニングによる概要把握
エ　新出語彙の確認
オ　本文の内容理解と音読
カ　新出文法のルールの理解とそれを使った自己表現
キ　グループによる文法解説
ク　自己表現（Presentation／Essay）
ケ　Vocabulary Quiz（Lesson毎），DataBase Quiz （週１回），Next Stage Quiz （週１回）
コ　Listening-Readingテキストを使用し、より実践的な英語を身に付ける

（３）復習・宿題
ア　Lesson 冊子内容
イ　Homework Assignment（音読／リスニング／スピーチ／エッセイなど）
ウ　文法問題
エ　DataBase
オ　Next Stage

２　長期休業の課題
（１） DataBase 100 Quiz
（２） Next Stage 100 Quiz, Next Stage Idiom 100 Quiz
（３） Summer / Winter / Spring Work

評価について

項目	割合	授業時における項目
知識・技能	50	定期試験、Data Base Quiz、NextStage
思考・判断・表現	30	定期試験、Presentation、Essay Writing
主体的に取り組む態度	20	授業ノート、Data Base Quiz、各種テストの直し

年間授業計画表

	単元	目標
前期	Guidance Lesson 1 Lost in Translation 不定詞の意味上の主語／不定詞の受け身／動名詞の受け身 Lesson 2 One Book Can Empower a Child 動名詞の意味上主語／不定詞の完了形 前期中間テスト	・授業の目的、やり方、課題、評価方法を知る。 ●翻訳できないことばなどについて、理解して考えを深めることができる。 ●英語のことわざなどについて、意見を交換したり、書いて伝えたりすることができる。 ●アジアの国々の子どもたちへ絵本を届ける活動や、その他のボランティア活動について、理解して考えを深めることができる。 ●ボランティア活動について、意見を交換したり、書いて伝えたりすることができる。 ・文法項目をお互いに説明し合い、協調性を身に付ける。 ・品詞について学び、文中で的確に使えるようになる。 ・Listening-Readingテキストを使用し、教科書の内容に更に広がりを持たせる。
	Lesson 3 Accessible Japan さまざまな分詞構文／強調構文 Lesson 4 Crossing the Border 関係詞の非制限用法／不定詞＋前置詞 前期期末テスト 模試、GTEC	●障がい者のために活動するジョシュ・グリズデイルさんの活動や、観光バリアフリーについて、理解して考えを深めることができる。 ●観光バリアフリーについて、意見を交換したり、書いて伝えたりすることができる。 ●貫戸朋子医師の活動と決断や、その他の重大な決断を迫られる人々について、理解して考えを深めることができる。 ●貫戸朋子医師の決断について、意見を交換したり、書いて伝えたりすることができる。 ・文法項目をお互いに説明し合い、協調性を身に付ける。
後期	Lesson 5 Mental Toughness 前置詞＋関係代名詞／無生物主語の他動詞構文 Lesson 6 Walking in Gaudi's Fiitsteps 助動詞＋have＋過去分詞／S is C（C=whether節） 秋中間テスト 模試	●メンタル・タフネスの考え方について、理解して考えを深めることができる。 ●メンタル・タフネスの活用について、意見を交換したり、書いて伝えたりすることができる。 ●サグラダファミリアの主任彫刻家、外尾悦郎さんの生き方や職業選択について、理解して考えを深めることができる。 ●職業選択について、意見を交換したり、書いて伝えたりすることができる。 ・文法項目をお互いに説明し合い、協調性を身に付ける。
	Lesson 7 Why Biomimicry? if 節のない仮定法／未来に関する仮定法／仮定法現在 Lesson 8 Invisible No Longer be to 不定詞／結果を表す不定詞 冬中間テスト 模試、GTEC	●バイオミミクリーや自然と人間の共存について、理解して考えを深めることができる。 ●バイオミミクリーの発明品について、意見を交換したり、書いて伝えたりすることができる。 ●コートジボワールのカカオ農園の女性たちの活動やフェアトレードについて、理解して考えを深めることができる。 ●フェアトレードが取り組む問題について、意見を交換したり、書いて伝えたりすることができる。 ・文法項目をお互いに説明し合い、協調性を身に付ける。
	Lesson 9 Nudges 未来進行形／未来完了形／受け身の進行形 Lesson 10 Are We Alone? 独立分詞構文／倒置 学年末テスト	●人々のよりよい選択を手助けする仕組みナッジについて、理解して考えを深めることができる。 ●学校内の問題を解決するためのナッジについて、意見を交換したり、書いて伝えたりすることができる。 ●宇宙探査について、理解して考えを深めることができる。 ●宇宙探査の意義について、意見を交換したり、書いて伝えたりすることができる。 ・文法項目をお互いに説明し合い、協調性を身に付ける。

履修学年	科目	必修	授業形態	単位数
高校2年	論理・表現Ⅱ		Divided	1単位

教科書 書名（出版社） Harmony English Logic and Expression Ⅱ	副読本 Materials made and/or prepared by the teacher Google Classroom

目標・ねらい

The goals of Logic and Expression Ⅱ are to help the students improve their English output (conversational speaking, presentation speaking, and writing) critical thinking and creative writing skills, as well as foster an environment where students feel confident in expressing their thoughts and opinions. Students will explore topics in English with the aim of creating international-mindedness and a sense of ownership in the global issues and current events that impact their future.

注意事項（学習方法・長期休業の課題など）

In Class:
Students will use English expressions to discuss their interests, opinions, likes and dislikes. To broaden their thinking, discussion topics will range from the personal to news, human interest stories, culture, geography and countries, and global social and evironmental issues. Resources from the textbook such as grammar points and expressions, as well as ICT resources and multimedia will be utilized. Pair work or group work will be required for some activities and assignments. Students are expected to give presentations in class.

Assessment:
Students will be assessed under three criteria:
(1) Knowledge and Skills（知識・技能）- Conventions of the English Language
(2) Thinking, Judgement, and Expressions（思考力・判断力・表現力）- Content, Critical Thinking, Expressions
(3) Attitude towards learning（主体的に学習に取り組む態度）- Taking a proactive approach and responsibility for one's own learning

Assessment pieces:
・Projects
・Exams (Term 1 Final Exam（前期末）/ Autumn Midterm Exam（秋中間試験）/ End of Year Exam（学年末））
・Speaking Tests
・Quizzes
・Class Participation
・Student Self-Assessment and Peer Assessment
・Speaking Activities, Homework, and misc. assignments

Class Participation and Expectations
・Students are expected to take a pro-active approach to their classwork and are responsible for their time management and self-organization. This includes completing assignments in an orderly manner, keeping their class materials clean and organized, and coming to class prepared.
・Students are expected to use Google Classroom, tablets, and other ICT resources (Flipgrid, abceed, etc.) to complete classwork. If they have any ICT difficulties, it is their responsibility to tell their teacher as soon as possible. School tablets are also available for students' use.
・The focus of this course is "communication," so students are expected to contact their teacher if they have any questions or troubles related to this class.

評価について

項目	割合	授業時における項目
知識・技能 Knowledge and Skills	40	Projects (Conventions), Tests, Exams, Quizzes
思考力・判断力・表現力 Thinking, Judgement, Expressions	40	Projects (Content), Exams, Tests, Q&A sessions
主体的に学習に取り組む態度 Attitude towards learning	20	Projects (Attitude), Class Participation, Self-assessment, Speeches and Speaking activities

年間授業計画表

	単元	目標
前期	**Unit 1: Review (4月- 5月)** Focus: ・ Question & Response ・ Command terms ・ Writing Standards ・ Speech & Presentation Standards Reflection Discussion (Notebooks) ※Test: Speaking Test 1 (Expressions Check)	(1) Review the communication standards from Senior 1, including question and response, command terms (paraphrase, summarize, etc.), and expressions so that students have a solid understanding of the basics. (2) Review writing standards (sentence structure, common grammar issues, etc.) and practice writing notes (memos). (3) Review speech/presentation skills (eye contact, enunciation, gestures, etc.) (4) Review speaking patterns (question and response) and expressions. (5) Develop students' critical thinking and reflection skills through small group discussions and notebook writing.
前期	**Unit 2: Exploring Other Countries (5月-7月)** Focus: ・Global Awareness ・Classification (Fact vs. Opinion) ・Facts, Opinions, and Justification Short Speech - Round 1 Project: A Country I've Never Heard Of ※Exam: Term 1 Final Exam（前期末）	(1) Practice expressions, vocabulary, and key words related to discussing other countries. (2) Increase students' knowledge of other countries and understanding of current world events through the Short Speech and Country Project. (3) Develop students' reasoning and logical expression with a focus on using facts to support opinions.
前期	**Unit 3-A: Opinion Essay (9月-10月)** Focus: ・Academic Writing - Essay ・Expressing Opinions in writing ・Hooks ・Transitions Projects: Summer Holiday Project ※Exam: Autumn Midterm Exam (秋中間試験)	(1) Introduce the conventions of the English Essay (Parts of an essay, Hooks and Transitions) (2) Practice explaining and justifiying opinions in writing. (3) Practice the essay in context (examples from EIKEN and GTEC) (4) Foster students' reflection and self-management skills with the Summer Holiday Project.
後期	**Unit 3-B: Research (10月-12月)** Focus: ・ Global issues (social & environmental) ・ Perspectives (Objective vs. Subjective) ・ Stronger Reasoning ・ Questioning / Inquiry ・ Research Skills 2 Project: Mini Research Project ※Test: Speaking Test 2 (Research Question)	(1) Expand students' inquiry abilities by exploring global issues and their connection to our lives. (2) Review how to critically evaluate sources, use citations and works cited pages, and integrate research into your own writing and presentations. (3) Review the academic honesty policy, and reflect on why academic honesty is important. (4) Introduce students to objective and subjective reasoning to foster understanding of diverse perspectives and bias in communication. (5) Develop students' writing, revision, and presentation process through the Mini Research Project.
後期	**Unit 4: Debate (1月-2月)** Focus: ・ Perspectives 2 (Pros and Cons) ・ Debate Format ・Constructive Speech (Argument) and Rebuttal Projects: Debate ※Exam: End of Year Exam（学年末）	(1) Introduce students to the format and conventions of a debate. (2) Use Pros and Cons lists to consider issues from multiple perspectives. (3) Develop students' persuasive reasoning and expressions through debate. (4) Practice writing / presenting Constructive Speech and Rebuttal Speech.

履修学年	科目	必修	授業形態	単位数
高校2年AE	Advanced English Ⅱ		一斉	4単位

教科書	副読本
Harmony: English Logic and Expression Ⅱ (いいずな書店)	・Unit-based Learning Materials (Google Classroom)

目標・ねらい

(1) to deepen students' knowledge and understanding of (i) English linguistic features, (ii) purposes and contexts of communication, and (iii) communication skills
(2) to accurately understand and effectively express information communicated in English
(3) to foster understanding of English cultures and promote an attitude of proactively and independent using English
＊ Skill focus: speaking (interaction), speaking (production), listening, and reading fluency

注意事項(学習方法・長期休業の課題など)

1 Learning Methods (Unit-based Study)
（1）Before lessons
ア Previewing assignments and unit materials
イ Using study support materials and self-assessing achievement of unit goals
（2）During lessons
ア Introduction: Small talk (a short conversation with fellow classmates)
イ Collaborative study/group work (expressions study, brainstorming, communication practice)
ウ Inquiry activities (questioning, thinking routines and research)
エ Performance projects (speeches, presentations, debates, interviews, exams)
オ Reflection
（3）Review ・ At-home study
ア Homework assignments (extensive reading, vocabulary/grammar practice, project preparation)
イ Independent review, preparation, or research, as needed
2 Long Holiday Assignments
（1）Project work (English contests, class projects, etc.)
（2）International exchange events and/or study abroad opportunities are encouraged
3 Other
（1）Support for external English skill exams (Eiken, TOEFL, etc.)
（2）Students are expected to be independent learners and exercise agency to take responsibility for their own learning. In the case of planned absences, students should consult the teacher about assignments in advance. For unexpected absences, students should review missed content with the teacher before the next lesson, when possible. Unreviewed, missed content will result in a lower evaluation of "Learning Agency".

□

項目	割合	授業時における項目
Knowledge and Skills (知識・技能)	30	Term tests, Performance assignments
Thinking, Judgement, Expression Abilities (思考力・判断力・表現力)	50	Term tests, Performance assignments
Learning Agency (主体的に学習に取り組む態度)	20	Attendance, In-class participation, Homework, Reflection assignments

年間授業計画表

	単元	目標
前期	**Unit 1: Improvisational English + International Vacation Project** **＊ Vacation Itinerary Presentation** **＊ Speaking fluency exercises** **＊ Extensive Reading / Quizes** **＊ Mid-end exam** **・ Listening / Speaking** **・ World Geography**	(1) Actively talk with teachers and classmates about countries around the world (2) Engage in planning/research activities with their group members. (3) Set personal English learning goals for the course.
前期	**Unit 2: Global Issues: Sustainable Lifestyles** **＊ Presentation on sustainable lifestyles.** **＊ Extensive Reading / Quizes** **＊ Speaking fluency exercises** **＊ Review essay writing skills** **＊ Personal essay on students' own sustainable lifestyle aspirations** **＊Term-end Exam**	(1) Explore sustainable development topics through inquiry. (2) Effectively use essay-writing techniques. (3) Reflect on and record learning goals, progress, and strategies
前期 後期	**Unit 3: Fiction and Poetry** **＊ Analyze fiction and poetry texts** **＊ Proper formatting and organization of fiction/poetry.** **＊ Peer editing.** **＊ Speaking fluency exercises** **＊ Summer Vacation Writing Project** **＊ Mid-term exam** **＊ Extensive Reading / Quizes**	(1) Expand imaginations within their English sphere. (2) Create their own original fictional worlds. (3) Reflect on and record learning goals, progress, and strategies
後期	**Unit 4: Diverse Perspectives** **＊ Extensive Reading / Quizes** **＊ Speaking fluency exercises** **＊ Research Presentation** **＊ Winter Mid-term Exam** **・ Research methods and structures** **・ Sourcing and citations** **・ Global issues**	(1) Gain knowledge on multiple perspectives of global issues by developing academic research skills (2) Use research methods to accurately and effectively gather, judge, and share information (3) Reflect on and record learning goals, progress, and strategies
後期	**Unit 5: Our World, Our Action** **＊ Extensive Reading / Quizes** **＊ Speaking fluency exercises** **＊ Winter Project** **＊ School Action Debate** **＊ Year-end Exam** **・ Persuasive arguments** **・ Debate rules and speech formats** **・ Critical thinking strategies**	(1) Develop knowledge of debate structures and formats while researching debatable topics (2) Use critical thinking strategies to logically organize persuasive arguments (3) Reflect on and record learning goals, progress, and strategies to set goals for future learning

履修学年	科目	必修	授業形態	単位数
高校2年	論理国語		一斉	2単位

教科書	副読本
探究　論理国語（桐原書店）	・新現代文単語　改訂版（いいずな書店） ・三訂版　学習のポイントが見える　よむナビ現代文2　必修編（いいずな書店）

目標・ねらい
・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を身に付ける。
・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。
・論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
・大学受験を見据えた読解力・思考力・論述力・知識を身につける。
・小論文の書き方を身につける。

注意事項

学習方法
　予習
　　指示された本文を読む（音読・読めなかった漢字、語句などをチェックする）。
　　分からない言葉を辞書で調べる（その際、調べたことが後で分かるように辞書に印をつける）。
　　重要漢字の書き取りをする。
　　形式段落に番号をふり、意味段落に分ける。全体の要旨をまとめる。
　復習
　　ノートやプリントを見直し、本文の内容、構成、表現とその効果、などを把握する。
　　ノートは板書だけで終わらせず、自分なりにまとめ直す。
　　改めて本文の要旨をまとめる。課題作文（あるいは小論文）を書く。
　　教材に関連した書籍を読み、理解を深める。

長期休業の課題
　作文・小論文、読書感想文を中心に、適宜、問題集やプリントを用いる。
　外部コンクールにも積極的に応募し、表現の素養を高める。

その他
　副教材（現代文単語や問題集）を用いた学習内容の確認および演習を通年の課題とし、定期試験の出題範囲とする。
　漢字テスト、現代文単語テスト、小論文対策、グループ学習、発表等も実施する。
　高2までに漢字検定2級取得を目指す。

※右記の計画は学年の状況に応じて変更することがある。
※9～10月に集中的に表現活動・探究活動を行い、授業中の実践や成果物を評価するため、秋中間テストは行わないものとする。

評価について

項目	割合	授業時における項目
知識・技能	20	小テスト、授業内の言語活動など
思考・判断・表現	60	定期試験4回
主体的に学習に取り組む態度	20	課題への取り組み、課題の提出状況

年間授業計画表

	単元	目標
前期	1　評論Ⅰ 2　評論Ⅱ 中間テスト	1　評論Ⅰ……文章の論理展開を追いながら、その論旨を正確に読み取る能力を身につけ、論理的な思考力を養う。また、自己と他者とのつながりについての考察を深める。 2　評論Ⅱ……文章の論理展開を追いながら、その論旨を正確に読み取る能力を身につけ、論理的な思考力を養う。また、言語の果たす役割について考察を深める。
	1　書くⅠ 2　評論Ⅲ 期末テスト	1　書くⅠ……文章を読むことを通して、新たな「問い」を立てる力を養う。また、その「問い」に答える意見文を書く力も養う。 2　評論Ⅲ……文章の論理展開を追いながら、その論旨を正確に読み取る能力を身につけ、論理的な思考力を養う。また、我々を取り巻く環境について考察を深める。
後期	1　評論Ⅳ 2　書くⅡ 3　小論文 冬中間テスト	1　評論Ⅳ……論理的な文章をその論理展開だけでなく、そこにこめられた筆者の物の見方・考え方を学び、人間や社会について考えを深める。特にここでは、テクノロジーの在り方や我々とのかかわりについての考察を深める。 2　書くⅡ……文章を読むことを通して、新たな「問い」を立てる力を養う。また、その「問い」に答える小論文やレポートを書く力を養う。 3　小論文……志望理由書や大学入試対応の課題を用いて、個別の進路に添って対策を行う。
	1　評論Ⅴ 2　実用的な文章 学年末テスト	1　評論Ⅴ……論理的な文章をその論理展開だけでなく、そこにこめられた筆者の物の見方・考え方を学び、人間や社会について考えを深める。特にここでは、共同体や市民社会の在り方や在るべき姿についての考察を深める。 2　実用的な文章……言語技術で学んだことを活かし、他者に的確に情報を伝えるられる実用的な文章を読み、書く力を養う。

履修学年	科目	選択必修	授業形態	単位数
高校2年	文学国語		一斉	2単位

教科書	副読本
探究　文学国語（桐原書店）	・漢字マイスター　頻出漢字熟語3000 （第一学習社）

目標・ねらい
・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。
・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け言語文化に親しむ。
・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

注意事項

学習方法
・事前に文章を読み、漢字や慣用句について予習する。
・作品が書かれた時期を調べ、時代背景を鑑みながら文章を読解する。
・作品に対する疑問や意見を共有し、一つの結論を導いて読解に活かす。

復習する際は、ノートやプリントを見直したうえで本文を要約し、
参考文献を読んで理解を深める。

その他
定期試験は、教員が用意した副教材（プリントや問題集）も出題範囲とする。
漢字検定に向け、漢字テストを行う。他、グループワークや発表も実施していく。

※右記の計画は学年の状況に応じて変更することがある。
※9～10月に集中的に表現活動・探究活動を行い、授業中の実践や成果物を評価するため、秋中間テストは行わないものとする。

評価について

項目	割合	授業時における項目
知識・技能	20	小テスト、授業内の言語活動など
思考・判断・表現	60	定期試験4回
主体的に学習に取り組む態度	20	課題への取り組み、課題の提出状況

年間授業計画表

	単元	目標
前期	1、詩　1篇 2、評論　1～2篇 3、小説　1～2篇 中間テスト	・文学史や作者について知り、文学的な知識を身に着ける。 ・詩/評論/小説など、ジャンルごとの表現方法や構造、論理展開に着目し、それぞれの読み解き方を身に着ける。 ・多くの語彙を学んで読解に活かし、作品の特徴や論旨を掴んで、自分の言葉で表現できるよう試みる。
	1、評論　1～2篇 2、小説　1～2篇 期末テスト	・文学的な知識を読解に活かし、必要な資料を参照しながら、多角的な分析の仕方・考え方を学び、自分の考えを深める。 ・作品を通して生成された自分の考えについて、記述や口頭での発表など様々な方法で表現できるようにする。
後期	1、詩　1篇 2、評論　1～2篇 3、小説　1～2篇 中間テスト	・近代作品に触れ、その時代背景や歴史観を知る。そのうえで、描かれている登場人物の心情を読み解き、現代との共通点を見出す。 ・自分の意見に根拠を持ち、説得力のある魅力的な発表を心がける。そのための、必要な資料選びができるようにする。
	1、評論　1～2篇 2、小説　1～2篇 期末テスト	・現代作品に触れ、社会的背景や時事と絡めながら読解することを試みる。 ・一年を通して、幅広いジャンルや様々な時代の作品を読み解く力を養い、そのための語彙や基礎的な知識を身につける。

履修学年	科目	必修	授業形態	単位数
高校2年	古典総合		一斉	1単位

教科書	副読本
古典探究　古文編 　　漢文編　（大修館書店）	要点プラス　体系古典文法　（数研出版） つながる･まとまる古文単語500PLUS　（いいずな書店）

目標･ねらい
･古文や漢文を読む能力を養うと共に、作品に表れた人間･社会･自然などに対する思想や感情を読み取り、物の見方･感じ方･考え方を豊かにする。
･古文や漢文を通して、日本文化の特質や中国文化の関係について考え、文学史的知識を深める。

注意事項

学習方法
予習
本文をノートに写し、品詞分解をする（※プリント等を使用する場合もある）。
本文中の重要古語の意味を調べ、現代語訳をする。
復習
教科書、ノート、プリント等を見直し、授業内容が理解できているか確認する。
本文すべてを現代語訳できるようになっているか確認する
問題プリントを解く。
小テスト
範囲を決めて、古文単語・漢文句法の小テストを行う。

長期休業の課題
プリントやテキストを課題とする予定。
副教材（古文単語集や漢文の習得）から範囲を決めて課題とする場合がある。
教科書の予習を課すことがある。

その他
副教材（古文単語集や漢文の習得）から範囲を決めて定期試験の出題範囲とする。
グループ学習、発表等も機を見て実施する。

※右記の計画は学年の状況に応じて変更することがある。
※９～１０月に集中的に表現活動・探究活動を行い、授業中の実践や成果物を評価するため、秋中間テストは行わないものとする。

評価について

項目	割合	授業時における項目
知識･技能	20	小テスト、授業内の言語活動など
思考･判断･表現	60	定期試験4回
主体的に学習に取り組む態度	20	課題への取り組み、課題の提出状況

年間授業計画表

	単元	目標
前期	古典文法（助動詞･助詞）の確認	高校1年で学んだ古典文法の復習を行う。
	文学史『上代から中古の文学』	上代から中古までの代表的な文学作品並びに時代背景を理解する。
	古文･説話	話の展開を楽しみながら、古典文法、重要古語等、古典学習の基礎的知識を定着させていく。
	漢文･故事逸話	正確な音読、重要語彙、重要句法等、漢文の基本事項を押さえつつ、故事成語の意味、成り立ちについて理解する。
	中間テスト	
	文学史『中世の文学』	中世の代表的な作品並びに時代背景を理解する。
	古典文法（敬語法）	古典文法の敬語法について理解し、必要事項を暗記する。
	古文・物語	敬語表現を手掛かりに主体を確認しながら、物語の流れを把握する。
	漢文・漢詩	漢詩の規則を一通り覚えるとともに、音読を繰り返し行い、漢詩の簡潔で格調高い表現を味わう。
	期末テスト	
	探究活動	
後期	文学史『近世の文学』	近世の代表的な作品並びに時代背景を理解する。
	古文・随筆	重要古語･古典文法を押さえつつ話の内容を理解し、作者の感じ方･考え方をつかむ。
	古文・歌物語	物語内容をしっかり押さえ、和歌をクライマックスとする歌物語の特徴について理解する。
	漢文	大きな歴史の流れも、常に具体的な事件･個々の状況を通して描かれるという中国史書の普遍的手法を理解する。
	冬中間テスト	
	日記	古文の読解上必要な基本語彙･文法を確認しながら、作者の置かれた状況や心情をとらえ、自照文学としての日記文学の特性を理解する。
	寓話	これまでに学習した重要語彙･句法を復習しつつ、話に込められた寓意について考え、その背景にある思想の核心をつかむ。
	学年末テスト	

履修学年	科目	選択必修	授業形態	単位数
高校2年	古典研究		分割	2単位

教科書	副読本
古典探究　古文編 　　漢文編　（大修館書店）	要点プラス　体系古典文法　（数研出版） つながる･まとまる古文単語500PLUS　（いいずな書店）

目標･ねらい
･古文や漢文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。
･作品に表れた人間･社会･自然などに対する思想や感情を読み取ることで物の見方、感じ方、考え方を広くし、人生を豊かにする態度を育てる。

注意事項（学習方法・長期休業の課題など）

学習方法
古文
授業前に指示された本文の品詞分解を行う。（※プリントなどを使用する場合もある。）
現代語訳しておく。
難読語の読み、重要単語の意味を単語帳・古語辞典で調べる。
本文を声に出して読む。
授業後は、作品の教科書に掲載されていない部分や関連した書籍を読んで理解を広げる。

漢文

授業前に指示された本文を書き下し文にする。（※プリントなどを使用する場合もある。）
本文の重要漢字の読み、意味・重要句法の書き下し、訳し方を調べておく。
また、書き下し・訓点の施し・口語訳をしておく。
授業後は白文を訓読し、理解できているか確認する。

※学年の状況に応じて単元が前後することがある。
※９～１０月に集中的に演習を行い、授業中の実践や成果物を評価するため、秋中間テストは行わないものとする。

評価について

項目	割合	授業時における項目
知識･技能	20	小テスト、授業内の言語活動など
思考･判断･表現	60	定期試験4回
主体的に学習に取り組む態度	20	課題への取り組み、課題の提出状況

年間授業計画表

	単元	目標
前期	古文 用言･助動詞 説話 物語 漢文 逸話 漢文句法の確認 中間テスト 漢文･史話史伝	古文 高1で学習した用言（動詞･形容詞･形容動詞）や助動詞などの文法事項を文章を読解しながら確認する。 説話や物語の展開を理解し、読み解く力をつける。 漢文 句法を確認し、作品の背景に関する知識を確認し、文意を理解する。
	古文 助動詞･助詞 物語 日記 漢文 漢文句法の確認 期末テスト	古文 古典文法の中でも特に助動詞と助詞について理解を深める。 作者のものの見方や考え方を捉え、作品に通底する思想を理解する。 漢文 句法を確認し、作品の背景に関する知識を確認し、文意を理解する。
後期	古文 敬語法 物語 評論 漢文 漢詩 思想 漢文句法の確認 冬中間テスト	古文 敬語について理解する。 今までに学習した古文の知識をふまえ、語句の意味を正しくとらえ、文脈に沿って読解する。 漢文 漢詩の特徴を知り、作者の心情を理解する。 長文読解の力を身につける。 古代中国の思想を理解する。
	古文 物語 漢文 思想 漢文句法･語彙の確認 学年末テスト	古文 長編展開の冒頭部における人間関係を把握する。 漢文 句法と重要語彙について理解する。 古代中国の思想を理解する。

履修学年	科目	選択必修	授業形態	単位数
高校2年	世界史探究		一斉	4単位

教科書	副読本
詳説世界史　世界史探究（山川出版）	ニューステージ世界史詳覧(浜島書店)

目標・ねらい
歴史を考察する基本的な方法を理解するとともに、歴史への関心を高め、歴史的な見方や考え方を身に付ける。

注意事項（学習方法・長期休業の課題など）

1　学習方法
（1）進度がはやく、各定期試験の内容が多くなるため、日頃の学習計画を立て、授業があった日には復習をしっかり行うこと。
（2）基礎的事項を小テストで確認するため、日頃から準備をしておくこと。

2　その他
（1）長期休業中は歴史に関連する史跡や資料館、博物館などに足を運ぶことが望ましい。また、旅行先の観光協会などを通じて歴史を学びとるなど、広い見聞を持つこと。

評価について

項目	割合	授業時における項目
知識・技能	40	定期試験5回・小テスト
思考・判断・表現	40	プリント・課題提出
主体的に学習に取り組む態度	20	小テスト・課題提出

年間授業計画表

	単元	目標
前期	序章　先史の時代 第１章　文明の成立と古代文明の特質 第２章　中央ユーラシアと東アジア世界 第３章　南アジア世界と東南アジア世界の展開 中間テスト	・人類の特性について理解する。 ・オリエント諸国の政治的・社会的特色を理解する。 ・ギリシア・ローマが後世のヨーロッパ文明の発展の基礎を築いたことを理解する。 ・日本を含む東アジア世界の形成過程を把握する。
	第４章　西アジアと地中海の周辺の国家形成 第５章　イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 期末テスト 第６章　イスラーム教の伝播と西アジアの動向	・イスラーム文化、世界の形成と拡大の過程を把握する。 ・キリスト教とヨーロッパ世界の形成、変動の過程を把握する。
後期	第７章　ヨーロッパ世界の変容と展開 第８章　東アジア世界の展開とモンゴル帝国 秋中間テスト 第９章　大交易・大交流の時代 第10章　アジア諸国の繁栄 冬中間テスト	・アジアの多様な自然条件とそこに登場する民族の特徴を理解する。 ・アジア国家の発展と、ヨーロッパ諸国の進出による社会の変容について理解する。
	第11章　近世ヨーロッパ世界の動向 第12章　産業革命と環太平洋革命 学年末テスト	・１６世紀から１８世紀までのヨーロッパ世界の特質とアメリカ、アフリカとの関係を理解する。 ・近代ヨーロッパにおける国民国家形成と産業社会の成立過程を理解する。

履修学年	科目	選択必修	授業形態	単位数
高校2年	日本史探究		一斉	4単位

教科書	副読本
詳説日本史　日本史探究　（山川出版社）	最新日本史図表（第一学習社）

目標・ねらい
・歴史を考察するのに必要な基本的概念と方法を理解するとともに、歴史への関心を高め、歴史的な見方や考え方を身につける。
・次世代を担う市民（主権者）として、歴史に学び、未来をつくる資質・能力を身につける。

注意事項（学習方法・長期休業の課題など）

1　学習方法
（1）進度がはやく、各定期試験の内容が多くなるため、日頃の学習計画を立て、授業があった日には復
習をしっかり行うこと。
（2）基礎的事項とそれらの歴史的理解を頻繁に小テストで確認するため、日頃から準備をしておくこと。
（3）教科書中心の学習となるので、授業前に一通り教科書を先取りして目を通しておくこと。

2　その他
（1）長期休業中は歴史に関連する史跡や資料館、博物館などに足を運ぶことが望ましい。
また、旅行先の観光協会などを通じて歴史を学びとるなど、広い見聞を持つこと。

評価について

項目	割合	授業時における項目
知識・技能	40	定期試験5回・小テスト
思考・判断・表現	40	プリント提出・課題提出など
主体的に学習に取り組む態度	20	振り返り・小テスト・課題提出など

年間授業計画表

	単元	目標
前期	第1章　日本文化のあけぼの 第2章　古墳とヤマト政権 第3章　律令国家の形成 1.律令国家への道 2.平城京の時代 3.律令国家の文化 中間テスト	・自然環境や大陸文化の影響による生活の変化、原始の社会について理解する。 ・農業の開始と階級社会の ・日本の形成と律令国家確立過程を、東アジア世界の形成に位置付けて理解する。 ・東アジア世界との交流、王朝国家への変容過程について理解する。
	第３章　律令国家の形成 4.律令国家の変容 第４章　貴族政治の展開 第５章　院政と武士の躍進 第６章　武家政権の成立 1.鎌倉幕府の成立 2.武士の社会 期末テスト	・律令国家から王朝国家への変容と、武士団の形成を理解する。 ・中国文化からの日本化、国風文化を理解する。 ・武士の土地や農民支配と公武関係に着目し、武家政権の形成過程を理解する。
後期	第６章　武家政権の成立 3.モンゴル襲来と幕府の衰退 4.鎌倉文化 第７章　武家社会の成長 第８章　近世の幕開け 秋中間テスト 第９章　幕藩体制の成立と展開 冬中間テスト	・日本の諸地域の動向、東アジア世界との交流、庶民の台頭に着目し、産業経済の発展や下剋上など中世社会の多様な展開を理解する。 ・武家文化の発達と文化の和風化を理解する。 ・ヨーロッパ世界との接触とその影響、「鎖国」などその後の対外関係、支配体制と身分制度に着目して、織豊政権、幕藩体制など、近世の特質について理解する。
	第10章　幕藩体制の動揺 第11章　近世から近代へ 第12章　近代国家の成立 1.明治維新と富国強兵 学年末テスト	・幕藩体制の動揺と近代化の牙難形成を理解する。 ・開国、幕府の滅亡と新政府の成立を、国際社会の接近と関連づけて理解する。 ・明治時代初期の近代日本の歩みについて、その社会経済構造の論理に基礎づけて理解する。

履修学年	科目	必修	授業形態	単位数
高校2年	公共		一斉	2単位

教科書 高等学校　公共（帝国書院）	副教材 なし

目標・ねらい
現代の諸課題を追究また解決する活動を通して、人間と社会の在り方についての見方・考え方を養い、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質・能力を身に付ける。

注意事項（学習方法・長期休業の課題など）

１　学習方法
（１）世界で起こっている事象、諸問題について考察するため、日頃から多くのかつ信頼のおける情報に触れようとする姿勢を意識すること。
（２）基礎的事項を小テストで確認するため、日頃から準備をしておくこと。成績不振者には追試を行う。
（３）長期休暇やその他の日々の課題提出を怠らないこと。
（４）グループ学習やプレゼンテーション形式での発表を行うことがある。探究心を持ち、積極的な態度で臨むこと。

２　その他・心がけてほしいこと
（１）長期休業中は自分の住む地域社会に関心を持ち、寄与・貢献するとともに、そこにおける課題を探究するよう、心がけること。
（２）歴史に関連する史跡や資料館、博物館などに足を運ぶことが望ましい。また、信頼できるメディアを通して、国内外の情勢に常日頃から関心を持つようにすること。
（３）単に知識の習得だけにとらわれず、常に現代の社会に起こっているできごととの関連の中で捉え、自分の生き方を掘り下げようとすること。

評価について

項目	割合	授業時における項目
知識・技能	40	定期試験5回・小テスト
思考・判断・表現	40	プリント提出・単元提出課題など
主体的に学習に取り組む態度	20	振り返り・小テスト・提出課題など

年間授業計画表

	単元	目標
前期	第1部　私たちがつくる社会 １章　社会の中の私たち 単元課題提出 中間テスト	・自分自身が、自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが、みずからのキャリア形成と共によりよい社会の形成に結び付くことについて考える。 ・現代社会が抱える、情報化、少子高齢化、地球環境問題などの諸課題を理解する。 ・青年期の課題についてしっかり理解することにより、自分自身の理解とじぶんを取り巻く人々との良好な関係を築くことができるようにする。
	２章　思想から学ぶべきもの 単元課題提出 期末テスト	・公共的な空間における基本原理として、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定等の大切さ、公共的な空間に生じる課題を、古代ギリシア、中国、近代・現代の思想家をたどり、思索の方法を探究する。 ・倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としてのあり方や生き方を多面的・多角的に考察する。
後期	第２部　社会のしくみと諸課題 １章　私たちと法 ２章　私たちと政治 単元課題提出 秋中間テスト ３章　私たちと経済 単元課題提出 冬中間テスト	・法の基本的な考え方に関する正確な理解に基づき、身近な主題についてさまざまな考え方を踏まえて判断し、みずからの意見や主張を表現することを通じて、法の意義や司法参加について考える。 ・公正かつ自由な経済活動が行われる社会を構成するための取り組みについて、自分の意見を表現することを通じて、市場経済の機能と限界、金融の動き、財政および租税の役割について考える。 ・変化する産業構造と労働のあり方、社会保障の意義と課題に対する正確な理解に基づき、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の役割といった諸問題について考える。
	第３部　持続可能な社会の実現に向けて 単元課題提出 学年末テスト	・第1部，第2部の学習を振り返りながら，幸福，正義，公正などに着目して，現代の諸課題を探究する活動に積極的に取り組み，持続可能な地域，国家・社会および国際社会づくりに向けた役割とは何かを考察する。

履修学年	科目	選択必修	授業形態	単位数
高校２年	数学総合		一斉	２単位

教科書	副読本
新編数学Ⅱ　　（数研出版）	数学Ⅱ　Study-upノート　　（数研出版）

目標・ねらい
・平面上にある点、直線、円が式で表せることを理解し、その式を活用してオリジナルの絵をかく。
・微分で瞬間の速さや接線の傾きが求まることを理解し、その逆の演算があることを学ぶ。
・微分積分の基礎的な知識と技能を修得する

注意事項（学習方法・長期休業の課題など）

○科目説明
（１）数学を「受験科目にしない生徒」を対象とした授業を行う。
（２）「第３章 図形と方程式」と、「第６章 微分積分」のみを学習する。

○定期試験について
（１）授業内容を中心に出題する。
（２）試験当日に、問題集を提出すること。

○日々の学習について
（１）予習として、教科書の例題を読むと良い。
（２）復習として、その日のうちに問題集を解いて、答え合わせと間違い直しをする。
（３）各教室に置いてある「数学検定の完全対策問題集（日本実業出版）」を自由に活用する。

評価について

観点	割合	授業時における項目
知識・技能	30	小テスト・課題
思考・判断・表現	50	定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	20	ワークなどの提出物

年間授業計画表

	単元	目標
前期	第３章　図形と方程式 直線上の点 平面上の点 直線の方程式 ２直線の関係 中間テスト	・２点間の距離、内分点・外分点の座標を学ぶ。 ・直線の方程式は、y=ax+bまたはax+by+c=0であることを学ぶ。 ・直線の方程式を理解し、平行や垂直の位置関係を考える。
	円の方程式 円と直線 期末テスト 不等式の表す領域　課題学習	・円の方程式から、中心と半径を求める。 ・平面上にある点、直線、円が式で表せることを理解する。 ・２つの不等式をともに満たす領域について学ぶ。 ・座標平面上に円を自在にかけるようになり、円と直線の式とで作り上げる領域によって絵を描く活動をする。
後期	第６章　微分法と積分法 微分係数 導関数とその計算 接線の方程式 秋中間テスト	・関数を表す記号を学び、平均変化率を定義する。 ・平均変化率の考え方を日常生活に応用させ、探究学習を行う。 ・接線の方程式を求める。
	関数の増減と極大･極小 関数の増減･グラフの応用 冬中間テスト 課題学習	･増減表を作り、グラフを描く。
	第６章　微分法と積分法 微分係数と導関数 関数の値の変化 積分法 学年末テスト	・微分の逆演算について学ぶ。 ・不定積分と定積分の違いを理解する。 ・定積分を利用して、いろいろな図形の面積を求める。 ・身の回りの物の平面図を座標平面上に写し取り、直線や放物線の式を活用してその面積を求める活動をする。

履修学年	科目	選択必修	授業形態	単位数
高校２年	数学Ⅱ		一斉	４単位

教科書	副読本
新編数学Ⅱ　　（数研出版）	３ＴＲＩＡＬ　数学Ⅱ＋Ｂ＋Ｃ [数列、統計的な推測、ベクトル]　　（数研出版）

目標・ねらい

・各章の考えについて理解し、基礎的な知識と技能を修得し、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する。

注意事項（学習方法・長期休業の課題など）

○科目説明

（１）数学を「受験科目にする生徒」を対象とした授業を行う。
（２）「数学Ⅰ」「数学Ａ」の単位未修得者は、本科目を選択できない。
（３）やむを得ず、「数学Ｂ」とあわせて選択できない場合は相談すること。

○定期試験について

（１）授業内容を中心に出題する。入試レベルの問題も出題する。
（２）試験当日に、問題集を提出すること。

○日々の学習について

（１）予習として、教科書の例題を解くと良い。
（２）復習として、その日のうちに問題集を解いて、答え合わせと間違い直しをする。
（３）考え方の基盤を確立するだけでなく、応用レベルの技能の習熟を得ることを目的とする。
（４）長期休業中には、大学入学共通テストレベルの問題を含んだプリントが配布される。
（５）各教室に置いてある「数学検定の完全対策問題集（日本実業出版）」を自由に活用する。
（６）各自で「振り返りノート」（数Ⅱ＋数Ｂで１冊）を準備し、模試後に提出する。

評価について

項目	割合	授業時における項目
知識・技能	30	小テスト・課題
思考・判断・表現	50	定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	20	ワークなどの提出物

年間授業計画表

	単元	目標
前期	第１章　式と証明 式と計算 等式・不等式の証明 第２章　複素数と方程式 複素数と２次方程式の解 中間テスト	・整式の乗法・除法、分数式の計算を理解し、恒等式や証明等に活用できる。 ・等式や不等式が成り立つことを証明できる。 ・虚数という新しい概念を理解し、基本的な計算ができる。
	高次方程式	・高次方程式が解ける。
	第３章　図形と方程式 点と直線 円 期末テスト 軌跡と領域	・座標を用いて直線図形、および円などの平面図形の性質や関係を調べる解析幾何的な方法を理解する。 ・軌跡の定義を理解し、与えられた条件を満たす点の軌跡を求めることができる。 ・不等式の表す領域を、座標平面上に図示することができる。
後期	第４章　三角関数 三角関数 加法定理 秋中間テスト	・弧度法の定義を理解し、度数法と弧度法の換算ができる。 ・三角関数および三角関数の加法定理について理解し、それらを事象の考察に活用できる。
	第5章　指数関数と対数関数 指数関数 対数関数 冬中間テスト	・累乗の意味と指数法則の理解を深める。指数・対数の関係を理解する。
	第６章　微分法と積分法 微分係数と導関数 関数の値の変化 積分法 学年末テスト	・微分の定義･概念を理解する。 ・増減表を作り、グラフを描く。 ・接線・関数値の増減を理解する。 ・積分の定義・概念を理解する。 ・不定積分・定積分を理解する。 ・面積の計算ができる。

履修学年	科目	選択必修	授業形態	単位数
高校２年	数学B		一斉	２単位

教科書	副読本
数学Ｂ　　（数研出版）	３ＴＲＩＡＬ　数学Ⅱ＋Ｂ＋Ｃ [数列、統計的な推測、ベクトル〕　　（数研出版）

目標・ねらい
・数列についての基本的な事柄と様々な数列の型を学ぶ。
・確率分布や期待値など確率論の方法に基づく抽象化によって、データの特徴や傾向を推測する考え方を学ぶ。

注意事項（学習方法・長期休業の課題など）

○科目説明
（１）「数学Ⅰ」「数学Ａ」の単位未修得者は、本科目を選択できない。
（２）やむを得ず、「数学Ⅱ」とあわせて選択できない場合は相談すること。
（３）数学Ⅱとの学習効果を図るため、「第３章 数列」からはじめる。

○定期試験について
（１）授業内容を中心に出題する。入試レベルの問題も出題する。
（２）試験当日に、問題集を提出すること。

○日々の学習について
（１）予習として、教科書の例題を解くと良い。
（２）復習として、その日のうちに問題集を解いて、答え合わせと間違い直しをする。
（３）考え方の基盤を確立するだけでなく、応用レベルの技能の習熟を得ることを目的とする。
（４）長期休業中には、大学入学共通テストレベルの問題を含んだプリントが配布される。
（５）各教室に置いてある「数学検定の完全対策問題集（日本実業出版）」を自由に活用する。
（６）各自で「振り返りノート」（数Ⅱ＋数Ｂで１冊）を準備し、模試後に提出する。

評価について

項目	割合	授業時における項目
知識・技能	30	小テスト・課題
思考・判断・表現	50	定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	20	ワークなどの提出物

年間授業計画表

	単元	目標
前期	第１章　数列 数列とその和 等差数列とその和 等比数列とその和 和の記号Σ 中間テスト 階差数列 いろいろな数列の和	・数列の基本的概念について学ぶ。 ・規則性を見つけ、一般項を求める。 ・数列の和を記号で表す。 ・階差数列について理解し，階差数列を用いて数列の一般項を求める。 ・複雑な数列の和の求める方法を考える。
	数学的帰納法 漸化式と数列 数学的帰納法 期末テスト	・数列の項の間に成立する関係式について学ぶ。 ・数学的帰納法を理解し、活用できる。
後期	第２章　統計的な推測 確率分布 確率変数と確率分布 確率変数の期待値と分散 確率変数の変換 確率変数の和と期待値 独立な確率変数と期待値・分散 秋中間テスト	・確率変数とその分布について学ぶ。 ・確率変数の和や積について知り、その期待値を求めることができる。
	二項分布 正規分布 統計的な推測 母集団と標本 冬中間テスト	･二項分布、正規分布について学ぶ。 ･正規分布を用いて自然現象や社会現象について考察する。 ･統計調査の基本を学ぶ。
	標本平均とその分布 推定 仮説検定 学年末テスト	・標本平均の分布の特徴を理解する。 ・仮説検定の意味を理解し，正規分布を用いて仮説検定を行うことができる。

履修学年	科目	必修	授業形態	単位数
高校2年	生物基礎α		一斉	2単位

教科書	副読本
生物基礎（東京書籍）	リードLightノート生物基礎（数研出版）

目標・ねらい

1　日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付ける。

2　観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。

3　生物や生物現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。

注意事項（学習方法・長期休業の課題など）

1　問題演習のためのプリントを行い、実力を養う。

2　定期テスト範囲の問題集を提出する。

3　観察や実験を行い、生物現象への理解を深め、レポートを作成する能力を養う。

4　長期休業中は、課題に取り組む。

評価について

項目	割合	授業時における項目
知識・技能	40	テストや課題、実験の技能
思考・判断・表現	30	テスト、授業プリントやレポートなどの提出物
主体的に学習に取り組む態度	30	授業態度、提出物

年間授業計画表

	単元	目標
前期	１編　生物の特徴 １章　生物の多様性と共通性 ２章　生物とエネルギー 中間テスト	・生物の多様性と共通性、エネルギーと代謝の関係性とエネルギーの通貨としてはたらくATPについて理解について理解する ・光合成において、エネルギーと物質の観点から理解を深める
	２編　遺伝子とそのはたらき １章　遺伝情報とDNA ２章　遺伝情報とタンパク質 期末テスト	・遺伝子の本体としてのDNAについて理解する ・体細胞分裂に伴うDNAの複製と分配、遺伝情報がタンパク質の合成という形で現れる過程を理解する
後期	３編　ヒトの体の調節 １章　体内環境と情報伝達	・体液の循環や調節に関わる機関のはたらきと体液中の物質のはたらきについて理解する ・自律神経とホルモンによる体内環境の調節のしくみを理解する
	2章　免疫のはたらき 冬中間テスト	・異物の体内への侵入を防いだり，侵入した異物を排除するしくみを理解する ・自己と非自己の区別が物質レベルでなされていることに気づく
	4編　生物の多様性と生態系（20） 1章　植生と遷移 2章　生態系と生物の多様性 3章　生態系とその保全 学年末テスト	・生態系の成り立ちと植生の果たす役割、植生の遷移が生じるメカニズムを理解する ・気候条件の違いにもとづいて，さまざまなバイオームが成立する過程を知り，世界や日本におけるバイオームの分布について理解する ・生態系におけるエネルギーの流れと物質の循環のしくみについて理解し，生態系の保全について考える

履修学年	科目	選択必修 （前期のみ）	授業形態	単位数
高校2年	生物基礎β		一斉	4単位

教科書	副読本
生物基礎（東京書籍）	リードLightノート生物基礎（数研出版） セミナー「生物基礎＋生物」　（第一学習社） サイエンスビュー生物総合資料（実教出版）

目標・ねらい

1　現代生物学の基礎となる代謝，遺伝子，恒常性，免疫，生態系といった基礎的な内容を，最先端の生物学を織り交ぜながら学習する。
2　生物の多様性の中から法則を導き，その中の法則に基づきながら共通性を見いだしていく。
3　観察・実験を通して自然を科学的に探求する能力を育てる。さらに，実験に対する目的，仮説，準備，方法，結果，考察，発展という手順に従ったレポートを作成する能力を育てる。
4　命の営みを学習することで生命に対する畏敬の念を育て，生命を尊重する精神を養う。

注意事項（学習方法・長期休業の課題など）

1　問題演習のためのプリントを行い、実力を養う。

2　定期テスト範囲の問題集を提出する。

3　観察や実験を行い、生物現象への理解を深め、レポートを作成する能力を養う。

4　長期休業中は、課題に取り組む。

評価について

項目	割合	授業時における項目
知識・技能	40	テストや課題、実験の技能
思考・判断・表現	30	テスト、授業プリントやレポートなどの提出物
主体的に学習に取り組む態度	30	課題、提出物

年間授業計画表

	単元	目標
前期	１編　生物の特徴 １章　生物の多様性と共通性 ２章　生物とエネルギー ２編　遺伝子とそのはたらき １章　遺伝情報とDNA ２章　遺伝情報とタンパク質 中間テスト	・生物の特徴の1つに挙げられる，多様性と共通性について理解する。 ・エネルギーと代謝の関係性とエネルギーの通貨としてはたらくATPについて理解する。 ・光合成において有機物であるデンプンが合成されることを理解する。 ・遺伝子の本体としてのDNAについて理解する。 ・体細胞分裂に伴うDNAの複製と分配について理解する。 ・遺伝情報がタンパク質の合成という形で現れる過程を理解する。
	３編　ヒトの体の調節 １章　体内環境と情報伝達 ２章　免疫のはたらき ４編　生物の多様性と生態系 １章 植生と遷移 ２章　生態系と生物の多様性 期末テスト 学年末テスト	・体液の循環や調節に関わる心臓・腎臓・肝臓などのはたらきについて理解する。 ・自律神経とホルモンによる体内環境の調節のしくみを理解する。 ・異物の体内への侵入を防いだり，侵入した異物を排除するしくみを理解する。 ・生態系の成り立ちと植生の果たす役割を理解し，植生の遷移が生じるメカニズムを理解する。 ・気候条件の違いにもとづいて，さまざまなバイオームが成立する過程を知り，世界や日本におけるバイオームの分布について理解する。 ・生態系におけるエネルギーの流れと物質の循環のしくみについて理解し，生態系の保全について考える。
後期		

履修学年	科目	選択必修 （後期のみ）	授業形態	単位数
高校2年	生物研究		一斉	4単位

教科書 生物 （東京書籍）	副読本リード Lightノート生物（数研出版） セミナー「生物基礎＋生物」　（第一学習社） サイエンスビュー生物総合資料（実教出版）

目標・ねらい
・日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
・観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。
・生物や生物現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。

注意事項（学習方法・長期休業の課題など）

１　問題演習のためのプリントを行い、実力を養う。

２　定期テスト範囲のノートと問題集を提出する。

３　観察や実験を行い、生物現象への理解を深め、レポートを作成する能力を養う。

４　長期休業中は、課題に取り組む。

評価について

項目	割合	授業時における項目
知識・技能	40	テストや課題、実験の技能
思考・判断・表現	40	テスト、授業プリントやレポートなどの提出物
主体的に学習に取り組む態度	20	課題、提出物

年間授業計画表

	単元	目標
前期		
後期	1編　生物の進化 1章　生命の起源と細胞の進化 2章　遺伝子の変化と進化のしくみ 3章　生物の系統と進化 秋中間テスト	生物の進化の過程とその仕組み及び生物の系統について、観察、実験などを通して探求し、生物界の多様性と系統を理解させ、進化についての考え方を身に付ける。
	2編　生命現象と物質 1章　細胞と物質 2章　代謝とエネルギー 冬中間テスト	・生物の基礎である細胞の構造やはたらきについて理解する。 ・物質輸送や情報伝達，細胞構造の維持などの生命現象を支えるタンパク質の構造やはたらきについて理解する。 ・有機物分解によって得られるATPのエネルギーの変化と利用のしくみについて理解する。
	3編　遺伝情報の発現と発生 1章　遺伝情報とその発現 2章　発生と遺伝子発現 3章　遺伝子を扱う技術 学年末テスト	・DNAの複製や遺伝子発現のしくみ，およびDNAの塩基配列変化に伴う突然変異について理解する。・遺伝子発現のしくみと細胞分化との関わりについて理解する。 ・バイオテクノロジーの技術の数々と応用面について理解する。

履修学年	科目	選択必修 （後期のみ）	授業形態	単位数
高校2年	物理研究		一 斉	2単位

教科書	副読本
物理 （数研出版/706）	リードα「物理基礎＋物理」 （数研出版）

目標・ねらい
物理的な事象・現象についての観察、実験などを行い、自然に関する関心や探究心を高め、物理的に探究する能力と態度を身につける。さらに、物理の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を身につける。

注意事項（学習方法・長期休業の課題など）

1　復習を重視し、問題演習を欠かさないこと。
2　授業中の小テストを重視し、基礎力の向上を図る。
3　多くの生徒実験、演示実験を通して、物理現象の理解を深める。
4　長期休業中は、問題集（セミナー物理）の問題を宿題とする。
5　長期休業中には、実験実習を中心とした補習を実施する。

評価について

項目	割合	授業時における項目
知識・技能	40	テストや課題、実験の技能
思考・判断・表現	30	テスト、授業プリントやレポートなどの提出物
主体的に学習に取り組む態度	30	課題、提出物

年間授業計画表

	単元	目標
前期	第1編　力と運動 第1章　平面内の運動 1.平面運動の速度・加速度 2.落体の運動 第2章　剛体 1.剛体にはたらく力のつりあい 2.剛体にはたらく力の合力と重心 中間テスト	平面上の運動について，速度や加速度のベクトルを用いた扱いを十分に理解し、慣れる。 放物運動における速度ベクトルを水平成分と鉛直成分とに分解し，定量的に理解する。 剛体にはたらく力の効果は，力の大きさと向きのほかに，作用線の位置により決まることを理解する。 剛体にはたらく力の合力をさまざまな場合に応じて求められるようにする。 また，偶力は剛体を回転させ始めるはたらきだけをもつ量であることを理解する。
	第3章　運動量の保存 1.運動量と力積 2.運動量保存則 3.反発係数 期末テスト	「物体の運動量はその物体が外部から力積を受けると変化する」こと，および，「そのときの運動量の変化量は，受けた力積の量に等しい」ことをしっかりと理解する。 2物体の一直線上の衝突について，運動量と力積の関係を用いて運動量保存則が導かれることを理解する。 斜めの衝突、物体の分裂の場合にも運動量保存則が成りたつこを理解する。 反発係数は衝突直後と直前における2物体の相対速度の大きさの比で表されることを理解する。
後期	第4章　円運動と万有引力 1.等速円運動 2.慣性力 3.単振動 秋中間テスト	円運動における速さ，角速度，回転数，周期などの量の定義，およびこれらの間に成りたつ関係を学習する。 等速円運動をする物体の加速度の向きは，物体から円の中心に向かう向きであることを理解する。 ある物体を異なる立場（場所）で観測するときには，異なった運動が観測され，異なった式が立てられる場合があることを理解する。 物体にはたらく力が，常に振動の中心へ向かって引き戻す向きであり，その大きさが振動の中心からの距離に比例するとき，物体の運動は単振動であることを理解する。
	4.万有引力 第2編　熱と気体 第1章　気体のエネルギーと状態変化 1.気体の法則 冬中間テスト	万有引力の公式が得られる過程を理解する。 重力と万有引力との関係を理解する。 万有引力による位置エネルギーを理解する。 ボイル・シャルルの法則，理想気体の状態方程式が得られることを示す。
	2.気体分子の運動 3.気体の状態変化 第3編　波 第1章　波の伝わり方 1.正弦波 2.波の伝わり方 学年末テスト	気体分子の運動を力学的に扱って気体の圧力を表す式を導く。 熱力学第一法則の式を用いて定積変化，定圧変化，等温変化，断熱変化を理解する。 気体のモル比熱として，定圧モル比熱と定積モル比熱を扱う。 原点での単振動の式をもとにして正弦波の一般式を理解する。 ホイヘンスの原理から反射・屈折の法則を導くことができることを理解する。

履修学年	科目	選択必修	授業形態	単位数
高校2年	化学研究		一斉	2単位

教科書	副読本
高等学校　化学　（第一学習社）	新課程二訂版　スクエア最新図説化学（第一学習社） セミナー化学基礎＋化学（第一学習社）

目標・ねらい
・化学的な事物・現象についての観察、実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、化学的に探究する能力と態度を育てる。
・基本的事項の理解を深め、物理化学的な概念や原理・法則を理解させ、基本的な概念や原理・法則を学習する。
・日常生活に用いられる化学物質について理解を深め、科学的な自然観を育成する。

注意事項（学習方法・長期休業の課題など）

1 授業プリントの作業で内容把握を行う。

2 授業中に小テストを行い、基礎力の向上を図る。

3 問題演習のためのプリントを行い、実力を養う。

4 多くの生徒実験、演示実験を通して、化学現象の理解を深める。

5 授業・補習で行った実験についてレポートを書く。

6 長期休暇等を利用し、課題ﾚﾎﾟｰﾄ等と問題集の指定範囲を解いて提出する。

評価について

項目	割合	授業時における項目
知識・技能	40	テストや課題、実験の技能
思考・判断・表現	30	テスト、授業プリントやレポートなどの提出物
主体的に学習に取り組む態度	30	課題、提出物

年間授業計画表

	単元	目標
前期	Ⅰ物質の変化 2酸化還元反応 中間テスト	・酸化還元反応を電子に着目して理解する。 ・酸化還元反応の化学反応式のつくり方を理解する。 ・金属によってイオン化傾向の大きさが異なるため、金属によって反応性が異なることを理解する。
	3電池 期末テスト	・酸化還元反応を利用して電流生み出す化学電池のしくみを理解する。
後期	4電気分解 Ⅱ物質の状態 1化学結合と結晶 秋中間テスト	・電気分解の原理を理解する。 ・水溶液の電気分解における陽極・陰極での化学反応式で表すことができる。 ・物質の構成粒子・化学結合・性質について理解する。 ・結晶格子の中の単位格子、配位数、単位格子の中に含まれる粒子の数を理解する。
	Ⅲ無機物質 1非金属元素 冬中間テスト	・無機物質の性質や反応を周期表に関連づけて理解する。 ・無機物質を日常生活および化学工業に関連づけて理解する。 ・さまざまな気体の発生方法と反応様式を理解する。
	2典型金属元素 3遷移元素 学年末テスト	・両性元素の反応を理解する。 ・金属イオンと陰イオンとの沈殿反応を利用して、金属イオンの系統分離ができるようにする。

履修学年	科目	選択必修	授業形態	単位数
高校2年	音楽Ⅱ		一斉	2単位

教科書	副読本
ＯＮ！２　　（音楽之友社）	高校生のための音楽研究ノート

目標・ねらい
音楽の諸活動を通して、個性豊かな表現の能力を伸ばし、鑑賞の能力を高めるとともに、音楽に対する豊かな感性と音楽を愛好する心情を養う。

注意事項（学習方法・長期休業の課題など）

・授業の進度により課題の出る場合がある。
・各種コンクール等への自主参加は自由。

評価について

項目	割合	授業時における項目
知識・技能	50	期末テスト・実技テスト・パフォーマンス
思考・判断・表現	40	実技テスト・パフォーマンス・課題・平常点
主体的に学習に取り組む態度	10	授業課題・平常点

年間授業計画表

	単元	目標
前期	世界の歌 日本の歌 楽典（調性・音階・関係調） アンサンブル	・歌唱表現の向上と発声の充実を図る。 ・音楽理論を理解し、演奏に生かす。 ・リズムと音色の調和を工夫する。
	芸術歌曲 楽典（調性・音階・関係調） アンサンブル 期末テスト	・原詩を十分に味わい、言葉や音楽と文学の関わりに関心を持つ。 ・音楽理論を理解し、演奏に生かす。 ・演奏法の習熟と視奏力の向上を図る。
後期	劇音楽 楽典（コード） アンサンブル	・劇と音楽の関わりについて考察する。 ・音楽理論を理解し、コード伴奏をできるようにする。 ・楽曲の構成や曲想の把握と個性豊かな表現の工夫をする。
	日本の歌 世界の歌 アンサンブル 学年末テスト	・歌詞の内容や曲想を把握し、表現の充実を図る。 ・フレージングや声部のバランス等、アンサンブルにおける全体の調和の工夫をする。

履修学年	科目	選択必修	授業形態	単位数
高校2年	美術Ⅱ		一斉	2単位

教科書	副読本
高校生の美術　2（日本文教出版）	なし

目標・ねらい
・美術の創造活動を通して、美的体験を豊かにし創造的かつ個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばす。
・創造的探究に取り組み、創造的な思考力を高めるとともに自己及び他者理解を深める。
・美術を生涯にわたり愛好する心情を育て、美術文化への理解を深めながら、豊かな情操を養う。

注意事項（学習方法・長期休業の課題など）

・作業時には、制服が汚れないように十分注意し、タブリエや、エプロン、スモックなどを着用する。
・筆記用具、教科書、絵の具バック、タブレットを持参する。
・課題によっては、必要な画材を実費にて事前購入し用意する場合がある。
・各種コンクールへの参加は自由。
・授業進度や、選択者の希望進路によって、課題内容の変更がある。

長期休業課題
調査レポート、鑑賞シート、自作の振り返り、作品制作、資料・材料集めなどのなかから、学習内容に合わせて休み前の授業内にて指示。

事前アンケートによる課題リクエスト
デッサン（手・静物）・木工・油絵・漫画・構成画・彫刻・陶芸・立体的な造形

評価について

項目	割合	授業時における項目
知識・技能	40	提出物（記述・作品）
思考・判断・表現	50	提出物（記述・作品）・鑑賞文
主体的に学習に取り組む態度	10	提出物（記述・作品）・活動への取り組み

年間授業計画表

	単元	目標
前期	鑑賞 日本美術	・日本美術作品の特色ある表現方法や、伝統的に引き継がれてきた日本の美意識を理解する。
	工芸 水墨画・篆刻	・鑑賞で学んだことを、自作への表現に生かす。 ・支持体(巻物)や画材の特性を生かした作品づくりを楽しむ。 ・素材の美しさを感じとり、素材を生かした表現効果を考える。
	デッサン（鉛筆または木炭） 手（構成デッサン）または静物	・対象を深く観察する力と、質感を捉え描写する力を磨く。 ・全体のバランスを考え、画面の構成をする。 ・用具の特性や効果を生かし、対象の特徴や色彩などの表現を創意工夫して追求する。
	鑑賞 美術館探索 または　アート作品鑑賞	・美術館に足を運び、実物の作品に触れることを通じ、鑑賞の能力を高める。 ・他者と美的体験を共有し、各々の反応の違いや共通点を楽しむ。 ・自分なりの視点を持って、作品を解釈する。
後期	デザイン・映像 アニメーション	・社会の問題を自分なりの視点でとらえ、他者へ問題提起、または解決法を提案をする。 ・映像作品の特性を理解し、効果的な展開やアングルなどの構成を考える。 ・多くの人に問いかけを投げかけるアート表現の在り方や可能性を模索する。 ・視点を変化し、既存のものに新たな価値を見出す。
	鑑賞・デザイン 美術史・デザイン史・現代アート ポスター	・芸術形式や主義を理解し、その美しさや魅力を感じ取る。 ・形や色彩、文字の効果を活かし、伝えたい情報を的確に伝える。
	自由制作（油彩またはアクリル画） 構想画	・主題に沿ったイメージを創造的に表す。 ・形や色彩、構図の効果を活かし、自身の主題を表現する。

履修学年	科目	選択必修	授業形態	単位数
高校2年	書道Ⅱ		一斉	2単位

教科書	副読本
書道Ⅱ　（光村図書）	なし

目標・ねらい
書道芸術の広い分野から沢山のことを学び、古今にわたる文化の推移に関心を持つとともに、自己の感性につなげる。

注意事項（学習方法・長期休業の課題など）

・基本的に宿題は出さない。
・作品制作が期限に間に合わない場合は、放課後に行う。
・定期テストは行わない。必要に応じて、授業の中で小テストを行う。

評価について

項目	割合	授業時における項目
知識・技能	50	小テスト・作品
思考・判断・表現	40	作品・創作作品
主体的に学習に取り組む態度	10	平常点

年間授業計画表

	単元	目標
前期	隷書の学習 「張遷碑」	書道Ⅰで学んだ「楷書」「行書」に「隷書」を加えて、それぞれの表現技法の違いを学ぶ。 作品・時代背景を踏まえた知的側面から、理解する。 ・篆書という書体に関心を持ち、その成立、特徴を理解する。 ・篆書特有の用筆、点画の組み立てを理解する。
	行書の学習 「蘭亭序」	・行書の表現技法を学び、身につける。
	篆刻の制作	・自分の「名」を朱文字で刻す。
後期	創作 書初め大会に向けて、半切作品を制作	・書道Ⅰで学んだ楷書・行書に隷書を加え、自分らしい作品を制作する。
	創作	・書道Ⅰ、書道Ⅱで学んだ分野の中から自分が好む分野を選択して創作に取り組む。 ・文字へのイメージを膨らませて1～2文字で表現する。（毛筆使用）

履修学年	科目	必修	授業形態	単位数
高校2年	体　育		一斉	2単位

教科書	副読本
ステップアップ高校スポーツ（大修館書店）	なし

目標・ねらい

自己の能力に応じた運動を選択し、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにする。

注意事項（学習方法・長期休業の課題など）

取り組み方
〇各テーマについて自分の考えや意見を持ち、積極的に発表し、意見交換を行うこと。
〇わが国が抱える健康問題、社会問題に対して「なぜか？」という探究心を持つこと。

評価について

項目	割合	授業時における項目
知識・技能	50	定期テスト・実技テスト
思考・判断・表現	30	ディスカッション・レポート・課題
主体的に学習に取り組む態度	20	振り返りシート・ワークシート

年間授業計画表

	単元	目標
前期	体育祭準備	・ラジオ体操第2の動作の徹底 ・体育祭の準備
	バスケットボール（A組） インディアカ（B組）	・速攻、マンツーマンディフェンス、ゾーンディフェンスなど集団を生かしたゲーム展開ができる。 ルールを理解し、安全にチームで協力した学習やゲームができる。 ・　基本技術の習得（パス、アタック、サーブ）。パスをつなぎ、アタックで攻撃ができる。インディアカのルールを理解し、安全にチームで協力した学習やゲームができる。
	バスケットボール（B組） インディアカ（A組）	・速攻、マンツーマンディフェンス、ゾーンディフェンスなど集団を生かしたゲーム展開ができる。 ルールを理解し、安全にチームで協力した学習やゲームができる。 ・　基本技術の習得（パス、アタック、サーブ）。パスをつなぎ、アタックで攻撃ができる。インディアカのルールを理解し、安全にチームで協力した学習やゲームができる。
	次年度体育祭準備 学年末テスト	

履修学年	科目	必修	授業形態	単位数
高校2年	保健		一斉	1単位

教科書	副読本
最新　保健体育　（大修館書店）	なし

目標・ねらい
・生涯の各段階における健康課題について学び、適切に対応できるようにする。
・社会生活における健康の保持増進について学ぶ。

注意事項（学習方法・長期休業の課題など）

取り組み方
〇各テーマについて自分の考えや意見を持ち、積極的に発表し、意見交換を行うこと。
〇わが国が抱える健康問題、社会問題に対して「なぜか？」という探究心を持つこと。

評価について

項目	割合	授業時における項目
定期試験	40	定期試験2回
思考・判断・表現	30	ディスカッション・レポート・課題
主体的に取り組む態度	30	振り返りシート・ワークシート

年間授業計画表

	単元	目標
前期	①ライフステージと健康 ②思春期と健康 ③性意識と性行動の選択 ④妊娠・出産と健康 ⑤避妊法と人工妊娠中絶	・ライフステージと健康との関連について理解し、活用できる社会的支援を学ぶ。 ・思春期の心身の発達を理解するとともにこの時期の心の発達に関わって起こる問題を知る。 ・性意識の男女差について理解し、身の回りにある性情報が性行動の選択に影響を及ぼすことを知る。 ・妊娠、出産の過程と妊産婦の健康について理解する。 ・妊娠出産期に活用できる母子保健サービスを知る。 ・家族計画の意義と適切な避妊法について理解する。 ・人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について理解する。
	⑥結婚生活と健康 ⑦中高年と健康 ⑩健康的な職業生活 期末テスト	・心身の発達と結婚生活の関係について理解する。 ・健康な結婚生活を営むための留意点について理解する。 ・加齢に伴う心身の変化について理解する。 ・我が国の高齢社会における社会的取り組みについて理解する。 ・職場が行う健康に関する取り組みについて理解する。
	⑪保健サービスとその活用 ⑫医療サービスとその活用 ⑬医薬品の制度とその活用 ⑭様々な保健活動や社会的対策 ⑮健康に関する環境づくりと社会参加	・保健行政の役割を知り、その活用について考える。 ・我が国における医療保険のしくみを知り、その役割について理解する。 ・医薬品の正しい使用法を理解し、安全性を守る取り組みについて説明できる。 ・国際機関・民間機関の保健活動を理解する。 ・行政機関による社会的対策について理解する。 ・健康の保持増進のための健康づくりを知り、主体的な参加が健康づくりに繋がることを理解する。 ・民間機関や国際機関の保健活動や対策について学ぶ。
	・探究学習（プレゼンテーション） 学年末テスト	・これまで学習した健康をテーマに探究し、プレゼンテーションを行い、他者の考えを知るとともに、自己の健康に対する意識を高める。

履修学年	科目	必修	授業形態	単位数
高校2年	情報Ⅰ		一斉	2単位

教科書	副教材
情報Ⅰ　（日本文教出版）	Google Classroom Progate Life is Tech Lesson

目標・ねらい

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ，情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し，情報社会に主体的に参画するための資質・能力を養う。

注意事項（学習方法・長期休業の課題など）

・パソコン操作に優れることを目標としていない。
（ただし、基本的なパソコンの操作の修得は出来るようにする。）

・課題は、授業時に終わらせることが前提であるが、終わらない場合は授業外課題という形態をとることがある。

・実習を取り入れた授業形態となるので、座学の時間は授業進行が速くなる。座学の前後は必ず指定範囲の教科書・テキスト等を読み、ビデオを見て概要を把握しておくこと。

・定期試験は、前期期末試験及び学年末試験のみ行う。

・授業を欠席した場合は、登校した日に授業内容の確認に来ること。

・提出物は期限厳守。未提出や提出遅れは平常点の大幅な減点対象となるので注意すること。

評価について

項目	割合(%)	項目内容
知識・技能	40	小テスト、実技テスト、定期テスト
思考・判断・表現	40	ワークシート、作品案・ふりかえりレポートの内容
主体的に学習に取り組む態度	20	授業、課題への取り組み状況

年間授業計画表

	単元	目標
前期	序章 第1節 なぜ情報について学ぶのか 第2節「情報Ⅰ」で学ぶこと 第3節 学習の前に確認しよう 第1章 第1節 情報の特性 第2節 メディアの特性 第3節 問題解決の考え方 第4節 法の重要性と意義―知的財産権 第5節 法の重要性と意義―個人情報 第6節 情報社会と情報セキュリティ 第7節 情報技術の発展による生活の変化 第8節 情報技術の発展による社会の変化 Pythonプログラミング	情報について学ぶ意義を理解する 「情報Ⅰ」で学ぶ内容を理解する 「情報Ⅰ」の学習をはじめる前に，中学校までの学習内容を確認する 情報の特性を考える メディアの特性を考える 問題解決の考え方を身につける 著作権侵害について考える 個人情報について考える サイバー犯罪について考える ソーシャルメディアの適切な活用方法を身につける 情報技術の発展と社会の変化を考える
	第1節 メディアとコミュニケーション 第2節 情報のデジタル化 第3節 情報デザイン 第1節 コンピュータのしくみ 前期期末試験	メディアの発達，コミュニケーションの形態や特性を理解する 情報機器のパーソナル化とソーシャルメディアの関係性を理解する アナログとデジタルの違い，2進法と情報量の単位との関係を理解する コンピュータによる情報の表現のしくみを理解する 情報デザインの考え方を知る 情報デザインによる問題解決のプロセスを理解する コンピュータの基本的な構成を理解する CPUによる演算のしくみを理解する"
後期	第2節 アルゴリズムとプログラム 第3節 モデル化とシミュレーション	アルゴリズムの基本構造を確認し，図や表で表現する方法を知る 変数，データ型，演算子，関数などプログラムを構成する要素を確認する 配列など，プログラミングでデータを効率よく利用する方法を理解する グループ分けプログラムの作成手順を見ながらプログラミングの方法を理解する モデル化とシミュレーションの考え方を理解する プログラミングによりコンピュータを用いてシミュレーションをする
	第1節 情報通信ネットワークのしくみ 第2節 情報システムとデータベース	コンピュータネットワークの構成を理解する データ伝送のしくみとプロトコルの役割を理解する 暗号化などの情報セキュリティを高める方法について理解する 情報システムが社会をどのように支えているか理解する データベースの役割について理解する
	第3節 データの活用 学年末試験	データの活用が問題解決に役立つことを踏まえ，データ収集の方法を理解する 数値データ，テキストデータの分析方法を理解する

履修学年	科目	必修	授業形態	
高校2年	宗教		一斉	1単位

教科書	副読本
聖書　新共同訳続編つき（日本聖書協会）	なし

目標・ねらい
①学園の建学の精神に触れ、キリスト教の基礎的な知識を身に付ける。
②キリスト教の歴史を理解する。
③聖書に触れ、神のメッセージを学ぶ。
④生徒一人ひとりが神に愛されていることを実感させる。

注意事項（学習方法・長期休業の課題など）

・ 聖書のみことばと、現代社会の諸問題を関連付けながら、学ぶように導く
・ 修養会などの宗教行事に関しての事前の準備と、事後の振り返りを行う。
・ 修養会ノートの提出や、課題に対するレポートを定期的に課す。
・ 夏休みには読書感想を書く。（宗教書などの指定は適宜行う）

評価について

項目	割合	授業時における項目
宗教への興味・関心	20	修養会ノート、課題
キリスト教についての知識・理解	60	定期試験
キリスト教的価値観を表現する力	20	レポート、授業のノートなど

年間授業計画表

	単元	目標
前期	修学旅行に向けて ・長崎の県民性・文化 ・日本におけるキリスト教の歴史 ・フランシスコ・ザビエルについて	・長崎の県民性・文化を理解する ・長崎を中心としたキリスト教の歴史や文化についての説明と理解。 ・ザビエルの生涯を学ぶ ・ザビエルの来日から禁教令までのキリスト教の歴史
	・長崎のキリシタン殉教史 ・26聖人 ・マルコ・マリー・ド・ロ神父の生涯 ・マキシミリアのマリア・コルベ神父の生涯 ・期末試験	・ザビエルの来日から現代までのキリスト教の歴史 ・江戸から明治期におけるキリシタン殉教の歴史。 ・長崎で活動した神父様の生き方を学ぶ。
後期	・キリスト教をテーマにした作品（映画・物語・絵本）に触れる。 ・死について ・修養会について	・現代におけるキリスト教について理解する。 ・誰にでもおとずれる死について考える。 ・指導司祭の紹介・テーマの確認・ミサや修養会の企画運営。
	・現代社会の諸問題とキリスト教 ・聖書に親しむ 学年末テスト	・生徒一人ひとりが感じる社会的な諸問題を挙げ、キリスト教的なアプローチを試みる。 ・有名な聖書の話を、視点を変えて読み、理解する。